

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	にじいろ2nd		
○保護者評価実施期間	R8年 1月 28日		～ R8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18名	(回答者数) 14名
○従業者評価実施期間	R8年 1月 28日		～ R8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童の特性に応じた柔軟な個別支援が実践できている点	個別スケジュールや環境調整を行い児童に合わせた支援を提供している。	地域交流の機会を増やし 社会性育成と地域連携強化を図る。
2	現場主体で支援改善が行われ職員の主体性が高い点	職員の意見を積極的に取り入れ柔軟に支援内容の見直しを行っている。	外部研修や専門機関との連携を強化し支援力向上を図る。
3	保護者との情報共有が密でニーズに応じた支援が行えている点	日々の連絡や面談を通して課題を共有し支援計画に反映している。	保護者交流の機会を設け支援の幅を広げる。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流や協議会参加など地域連携が十分ではない点	外部活動の機会や体制整備が不十分であるため	地域活動や交流機会を増やし段階的に連携体制を構築する。
2	外部評価や専門家助言の機会が不足している点	外部との連携機会や仕組みが未整備であるため	外部評価や研修の導入を進め支援の質向上を図る。
3	保護者同士の交流支援が十分ではない点	交流機会の企画や実施が十分にできていないため	保護者会等の開催を検討し交流機会の充実を図る。